

【株主の皆様へ】

第67期 報告書

2021.4.1~2022.3.31

グループ経営理念

山一電機グループは、人・企業・社会・地球とのより良い結びつきを柔軟な技術力と発想力をもって意欲的に創造する「もっとしなやかにベターコネクション」をコーポレートスローガンに、お客様の価値創出に貢献します。

1

人の尊重

人を育て、人を活かし、
会社の発展と
個人の幸せの共有を
目指します。

2

企業価値の最大化

株主をはじめとしたステーク
ホルダーの要請に応え、
適正利潤を追求し、
企業価値の最大化を目指します。

3

企業品質の向上

信頼の最大の基盤である
優れた製品品質と企業品質を
提供することによって、
顧客の満足を図ります。

4

技術立社への挑戦

開発型企業として、
たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、
半歩先をゆく技術を提供します。

5

社会的役割の達成

常に社会との調和を図り、
社会から信頼される企業で
あり続けます。

セグメント別売上高構成比と主要な事業内容 (2022年3月31日時点)

光関連事業 4.5%

RGBフィルタ、UV/IRカットフィルタ、
ダイクロミックフィルタ・ミラー、
蛍光ダイクロミックフィルタ、
ショート/ロングパスフィルタ、
バンドパスフィルタ、半導体レーザ光源



コネクタソリューション事業 43.2%

高速伝送用コネクタ、カードコネクタ、
インターフェースコネクタ、基板コネクタ、
圧接コネクタ、実装用ICソケット、その他各種コネクタ、
YFLEX(高速伝送用ケーブル、実装基板)



売上高
39,574
百万円

テストソリューション事業 52.3%

バーンインソケット、
テストソケット、
半導体テスト関連サービス



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
当連結会計年度(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の事業概況をお届けし、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 亀谷 淳一



当連結会計年度における世界経済は、前年度に比べ新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が主要各国で進み、行動規制の緩和等から経済の持ち直しが見られましたが、反面、世界的な半導体不足、中国経済の減速に加え、期の後半ではエネルギー・資源価格の上昇等によるインフレの拡大に対する金融政策の方向転換から急激な円安の進行や、地政学リスクの高まりなどにより不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、世界的な半導体不足に起因する半導体の需要拡大及び、主要市場である欧州産業機器市場での投資回復による需要拡大等により多様化する市場ニーズへスピーディーに対応を行い、生産体制強化と原価低減及び品質改善を進め、原材料費や輸送費のコストアップ影響を最小限に留めるべく努力を続けてまいりました。

その結果、当社グループは通期連結期間として営業利益が過去最高を更新いたしました。当連結会計年度の経営成績は、売上高39,574百万円（前年同期比43.0%増）、営業利益8,375百万円（前年同期比162.4%増）、経常利益8,746百万円（前年同期比178.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益6,771百万円（前年同期比161.2%増）となりました。

今後の見通しにつきましては、各国で新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んでいるものの、地域によっては変異株の感染拡大に伴う行動規制から企業活動へ支障が出ていることに加え、米中経済摩擦の継続、急激な円安進行、エネルギー・資源価格の高騰、さらには高まりつつある地政学リスク等の影響から、今後も予断を許さない状況が続くと予想されます。しかし、中長期的にはスマートフォンや携帯機器の高機能化とデータセンターの能力増強、走行安全・自動運転等のモビリティにおけるさらなる高機能化などにより、エレクトロニクス市場拡大への影響は限定的と見込んでおります。以上を勘案し当社グループにおける2023年3月期連結業績予想につきましては、売上高40,300百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益7,400百万円（前年同期比11.6%減）、経常利益7,400百万円（前年同期比15.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益5,400百万円（前年同期比20.2%減）としております。

株主の皆様におかれましては、今後ともますますのご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

セグメント情報

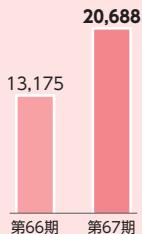
テストソリューション事業

バーンインソケット、テストソケット、半導体テスト関連サービス

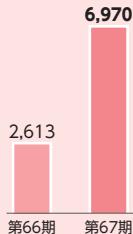
売上高構成比
52.3%

(単位：百万円)

売上高

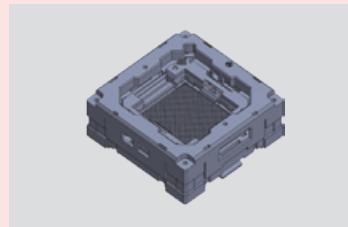


営業利益



車載半導体向けソケットの拡充

自動車を取り巻く環境は「CASE」と呼ばれる新しい技術が求められています。その中で「自動運転」の領域では先進支援運転システム (ADAS) の導入により、高度な演算能力を持つ半導体が採用されています。このような半導体では演算時に自己発熱する製品もあり、テスト時に放熱させる性能がソケットに求められます。当社ではこのようなご要求に高温放熱性能に優れたソケットの開発及び拡充を進めています。今後も技術開発に取り組み、お客様のニーズにお応えするテストソリューションをご提供してまいります。



高温放熱性能に優れた車載IC用バーンインソケット

※CASEは、C (Connected: コネクテッド)、A (Autonomous: 自動運転)、S (Shared & Service: シェアリング/サービス)、E (Electric: 電動化) の頭文字をとった造語です。

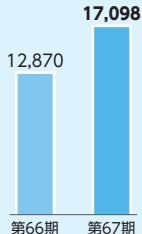
コネクタソリューション事業

高速伝送用コネクタ、実装用ICソケット、YFLEX (高速伝送用ケーブル)、等

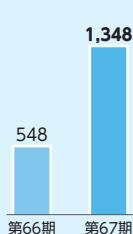
売上高構成比
43.2%

(単位：百万円)

売上高



営業利益



車載カメラモジュール向け小型同軸コネクタのシリーズ拡充

自動運転へと進化する自動車には、安全や制御、情報収集に至る様々な用途のカメラが搭載され、デジタル化や高性能化が進み車載カメラの需要は市場の本格化が一層加速し拡大が見込まれます。この背景からコネクタにおいては、搭載数の増加に伴う省スペース化が求められています。当社は、車載カメラモジュール向け小型同軸コネクタ「HC001シリーズ」に新たにピグテールタイプと中継ダイレクトタイプを開発しラインナップを強化いたしました。今後もアイテムの幅を広げ、お客様のニーズにお応えする製品開発を進めてまいります。



ピグテールタイプ

中継ダイレクトタイプ

車載カメラモジュール向け小型同軸コネクタ「HC001シリーズ」

光関連事業

RGBフィルタ、蛍光ダイクロイックフィルタ、ショート/ロングパスフィルタ、半導体レーザ光源、等

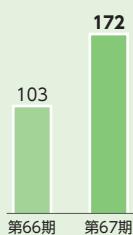
売上高構成比
4.5%

(単位：百万円)

売上高



営業利益



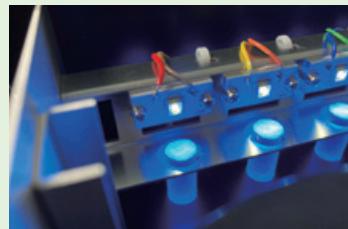
UVC-LED (深紫外線発光ダイオード) を応用した製品の開発に着手

波長100~280nmのUVC (深紫外線) は強い除菌効果を持ち、新型コロナウイルス感染症対策製品の需要増大や水銀ランプ廃止の動きと相まって、様々な製品の表面除菌や水・空気の除菌を行う機器への応用が広がっています。

UVC-LEDは従来のUVランプと比べて低消費電力で、有害物質を使わないなどの利点があり、今後も応用製品が広がっていくと予想されています。

光関連部門では、半導体レーザ光源やカスタム光学フィルタの開発で培った光学系設計技術や発光制御技術を応用し、UVC-LED応用製品の開発に取り組んでいます。

今後も持続可能な社会の実現に向けて、資源効率に優れ環境保全に考慮した製品開発を進めてまいります。



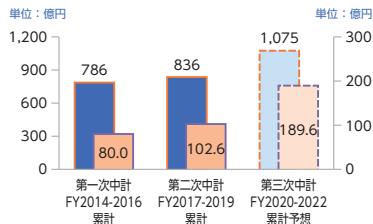
UVC-LED (深紫外線発光ダイオード) を応用した製品

トピックス

2022年3月期に過去最高営業利益を更新

主力のテストソリューション事業において、スマートフォン用CPUテストソケットが大きく伸長したことに加え、コネクタソリューション事業においては、主要市場である欧州産業機器市場にて投資回復が進んだことにより業績を伸ばし、当社グループは24年ぶりに最高営業利益を更新いたしました。

第三次中期経営計画（2020年度～2022年度）進捗について



	第三次中期経営計画目標値	2020年度実績	2021年度実績	2022年度計画	第三次中計合計	達成率
売上高	883億円	276億円	395億円	403億円	1,075億円	122%
営業利益	111億円	31.9億円	83.7億円	74.0億円	189.6億円	171%
設備投資	100億円	38.1億円	27.8億円	44.2億円	110.2億円	110%
配当性向	30.0%以上	30.6%	30.1%	30.1%	—	—
ROE	10.0%以上	10.7%	23.7%	—	—	—

佐倉事業所新棟建設決定について

当社は、佐倉事業所敷地内に新棟建設を決定いたしました。世界的な半導体需要の拡大による半導体テストソケットの安定した供給体制の構築及び、コネクタソリューションの多様化する顧客ニーズに向けてスピーディに対応することを目指し、生産能力の増強として新棟の建設を行います。なお、新棟建設にあたり、事業継続計画、環境負荷の低減等を勘案して、取り組んでまいります。また、新棟での生産開始は2024年4月を予定しております。

・取得資産の内容

名称	山一電機株式会社 佐倉事業所第二棟（仮称）
所在地	千葉県佐倉市大作1-4-1
建築面積	3,000㎡（予定）
延床面積	6,000㎡（予定）
投資総額	約15億円
資金計画	自己資金

山一電機、日本航空電子工業 通信市場向け 112Gbps対応内装ケーブルコネクタを共同開発

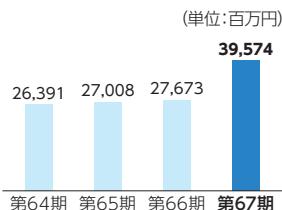
当社と日本航空電子工業株式会社は、112Gbps PAM4対応の内装ケーブル用コネクタを共同で試作開発しました。5Gの普及、今後のBeyond 5G実用化により、一層の性能向上が求められるルーター、スイッチなど各種通信機器の信号処理の高速化に向け、両社の強みを活かし、早期の製品化を目指して両社で開発を進めていきます。



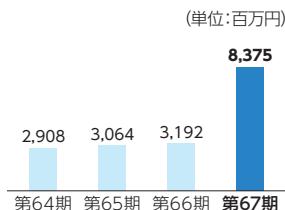
■当社は、2022年6月28日開催の第67期定時株主総会にて承認いただき、監査等委員会設置会社へ移行いたしました。

■連結業績ハイライト

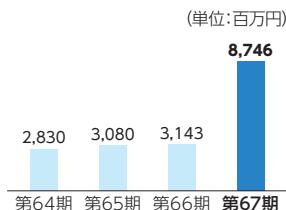
売上高



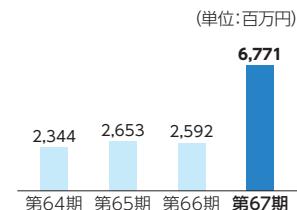
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 (2022年3月31日現在)	前期 (2021年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	30,227	20,645
現金及び預金	13,573	9,471
受取手形及び売掛金	8,480	5,416
有価証券	10	—
棚卸資産	6,388	4,193
その他	1,774	1,563
固定資産	15,144	14,818
有形固定資産	13,601	13,157
無形固定資産	244	125
投資その他の資産	1,297	1,535
資産合計	45,372	35,463
負債の部		
流動負債	10,675	7,244
支払手形及び買掛金	2,377	1,684
短期借入金	2,896	2,949
その他	5,400	2,610
固定負債	2,703	2,563
長期借入金	300	10
その他	2,403	2,553
負債合計	13,378	9,807
純資産の部		
株主資本	31,227	25,814
資本金	10,084	10,084
資本剰余金	1,788	1,775
利益剰余金	22,008	16,139
自己株式	△2,653	△2,183
その他の包括利益累計額	457	△471
新株予約権	181	184
非支配株主持分	126	127
純資産合計	31,993	25,655
負債純資産合計	45,372	35,463

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	前期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	39,574	27,673
売上原価	23,692	18,481
売上総利益	15,881	9,191
販売費及び一般管理費	7,506	5,999
営業利益	8,375	3,192
営業外収益	455	101
営業外費用	84	150
経常利益	8,746	3,143
特別利益	22	1
特別損失	3	86
税金等調整前当期純利益	8,765	3,058
法人税、住民税及び事業税	1,974	511
法人税等調整額	15	△48
当期純利益	6,775	2,596
非支配株主に帰属する当期純利益	4	3
親会社株主に帰属する当期純利益	6,771	2,592

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	前期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,637	3,724
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,283	△2,352
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,774	△1,358
現金及び現金同等物に係る換算差額	520	176
現金及び現金同等物の増減額	4,100	189
現金及び現金同等物の期首残高	9,448	9,259
現金及び現金同等物の期末残高	13,548	9,448

会社概要

■ 会社の概要 (2022年3月31日現在)

商号	山一電機株式会社
所在地	東京都大田区南蒲田2丁目16番2号
設立	1956年11月
資本金	100億8,410万円
従業員数	372名 (連結 1,920名)
主な事業内容	1. テストソリューション事業 2. コネクタソリューション事業 3. 光関連事業

■ 株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	23,329,775株
株主数	7,533名
単元株式数	100株
大株主	

株主名	所有株式数	持株比率
	株	%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	3,707,500	17.54
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,198,400	15.13
株式会社日本カストディ銀行 (証券投資信託口)	619,300	2.93
J P モ ル ガ ン 証 券 株 式 会 社	607,691	2.87
GOVERNMENT OF NORWAY	544,276	2.57
日本生命保険相互会社	421,075	1.99
山一電機従業員持株会	350,088	1.65
RBC ISB LUX NON RES/DOM RATE-CITIS CLIENTS ACCOUNT-MIG	349,700	1.65
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	272,200	1.28
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	243,900	1.15

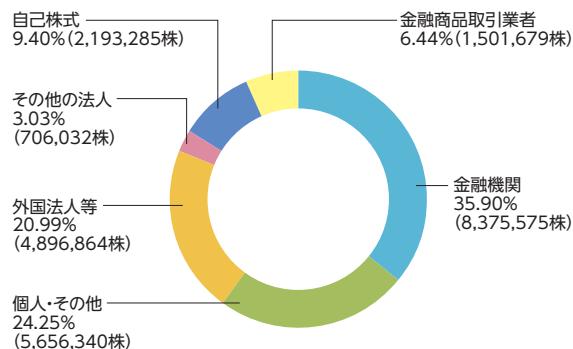
(注) 1. 当社は、自己株式を2,193,285株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式2,193,285株を控除して計算しております。

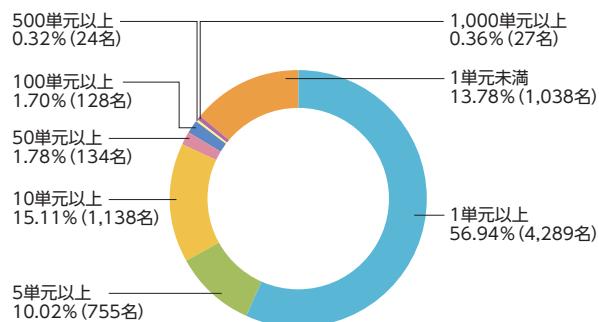
■ 役員 (2022年6月28日現在)

取締役会長	太田 佳孝	取締役 (常勤監査等委員)	柳澤 光一郎
代表取締役社長	亀谷 淳一	社外取締役 (監査等委員)	岡本 忍
取締役	土屋 武	社外取締役 (監査等委員)	村瀬 孝子
取締役	松田 一弘		
取締役	岸村 伸洋		
社外取締役	村田 朋博		
社外取締役	佐久間 陽一郎		
社外取締役	依田 稔久		

■ 所有者別株式数分布状況 (2022年3月31日現在)



■ 所有株数別株主数分布状況 (2022年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 (プライム市場：証券コード6941)
公告の方法	電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

【お知らせ】

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6941

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で簿籍（図書カード500円）
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 リンクコーポレートコミュニケーションズについての詳細
<https://www.link-cc.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ MAIL: info@e-kabunushi.com
「e-株主リサーチ事務局」

IRサイトのご案内

IR情報はホームページからもご覧になれます。

<https://www.yamaichi.co.jp/ir/>



今後も、「株主の皆様へ」の情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

山一電機株式会社

〒144-8581 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号
☎03-3734-0115 (代表) ☎03-3734-0120
ホームページアドレス <https://www.yamaichi.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

